



2月16日、22日 東小学校、昭和中学校

福祉の考え方や認知症への理解深める

昭和中学校で1年生を対象とした「福祉について考える授業」が行われました。生徒たちは、認知症サポーター養成講座を受けたほか、車イス利用者が必要とする手助けについてグループで考えました。受講した加藤敬二君は「認知症や車イスの大変さを知った。外で接する場面があればこの学びを活かしたい」と話しました。

また、東小学校では4年生が福祉について学び、福祉の意味や、福祉事業で使われている設備・車両に施された工夫について学習しました。それぞれの授業は、村社会福祉協議会の企画により行われました。



認知症サポーターのリングを手に(22日・昭和中学校)



車いすスロープ付福祉車両の仕組みを学ぶ(16日・東小学校)

2月8日 新型コロナウイルス感染症対策
石坂建設(株)が検査キットを寄贈

石坂建設株式会社(諸田光二社長)から村に、新型コロナウイルス抗原検査キット2,500個を寄贈いただきました。

諸田社長は「新型コロナウイルス感染症は、まだ収束したとはいええない状況です。感染が心配されるとき、手軽に確認できる検査キットを使って体調管理に役立ててもらえれば」と述べました。

寄贈いただいた抗原検査キットは、役場や各保育園などで有効に活用させていただきます。



抗原検査キットを寄贈された諸田社長(左)

2月25日 昭和村生涯学習大会
フリーアナウンサーの笠井さんが講演

第28回昭和村生涯学習大会が村公民館で開催され、フリーアナウンサーでフジテレビ「とくダネ!」で長年キャスターを務めた笠井信輔さんを招き「テレビ災害報道の裏側と人権」と題した講演が行われました。

この日は約100人の村民が来場。震災での被災地取材やコロナ禍で自身が闘病した血液のがんの治療など、笠井さんの体験談に耳を傾けました。笠井さんは「人権は人への思いやり、手を差し伸べることだが、自分から乗り越えようとする力も必要」と話していました。



人権講演で自らの体験を語りかける笠井さん

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

2月3日 遍照寺で節分会 迫力の鬼踊りで悪疫退散を願う

遍照寺(榎本^{さいしん}住職)で昭和元三大師節分会が開かれました。今年で12回目となるこの節分会では、京都・廬山寺の伝統行事を再現する関東唯一の鬼法楽(鬼踊り)が行われ、人間の3つの煩惱を表した赤、青、白の鬼が登場し、境内をゆっくり練り歩きました。

住職の榎本さん(森下上)は「多くの方々に来ていただき、盛大に開催することができた。コロナ禍が続いている今年も疫病退散の願いを込めた」と話していました。



境内を練り歩いた鬼たち

2月27日 村婦人会研修会 フィンランド発祥「モルック」で熱戦

村婦人会(竹之内^{みちえ}美智枝会長)研修会が村多目的屋内運動場で開かれ、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」で熱戦が繰り広げられました。

この競技は、1から12までの番号が振られた木製ピンに木製の棒を下から投げて倒し、得点を競います。幅広い年代が少人数で気軽に楽しむことができることが特徴で、参加した会の皆さんからは「難しい」「集中できて楽しい」などと感想が聞かれ、ルールを確認しながら一投ずつ集中して投げていました。



木製の棒「モルック」を木製のピン「スキットル」に投げる

2月7日 南小学校と横浜市・東台小学校との交流 尾瀬の魅力 オンラインで発表

南小学校の5年生が、村と友好交流協定を結んでいる横浜市・東台小学校の5年生とオンライン授業で交流しました。

授業ではまず、両校の子どもたちが質疑応答などを交えて交流し、慣れてきたところで南小学校から東台小学校の子どもたちに向け発表。尾瀬ヶ原に代表される湿原の美しさや、そこに生きる動植物などを細かく調べてまとめた「尾瀬の魅力」について、タブレット端末越しの横浜の子どもたちに説明しました。



タブレット端末越しの横浜の子どもたちに向け発表

1月15日 全国高校柔道群馬県予選 八木さんが活躍、桐生第一高が優勝

柔道の全国高校選手権の群馬県予選が前橋市のA L S O K ぐんま武道館で行われ、八木^{やんこ}健斗さん(永井上)が所属する桐生第一高校の男子団体が優勝に輝き全国大会出場を決めました。

決勝戦に進んだ桐生第一高校は、前橋商業高校と対戦。先鋒で登場した八木さんは、勝負を諦めない不屈の精神で戦い抜き引き分けに持ち込みました。

桐生第一高校は、3月20日から東京・日本武道館で行われる全国選手権に出場します。



優勝した桐生第一高校男子団体(後列右が八木さん)



2月14日 100歳の誕生日 二瓶みな子さんに慶祝状

100歳の誕生日を迎えられた二瓶みな子さん(永井上)を堤村長が訪問。慶祝状などを手渡し長寿を祝いました。二瓶さんは「みんなに祝っていただきうれしい。なんでもよく食べて元気です」と喜びを語りました。



100歳を迎えられた二瓶さん



2月17日 ひまわり大学 パラリンピック競技のボッチャを体験

ひまわり大学「ボッチャ体験」が行われました。参加者は、森肇子さん(上内出)と堤恵理子さん(森下中)の指導でパラリンピック競技のボッチャを体験。白球に向かって球を転がし、白熱した試合が展開されました。



白球めがけて真剣な表情で投球



12月15日 ひまわり大学 春まで楽しめる寄せ植えを体験

ひまわり大学「春まで楽しめる寄せ植え教室」が池田種苗(株)の米村千香子さんを講師に招き行われました。

参加者は、春先まで長持ちする花々を整えながら、丁寧に寄せ植えを体験していました。



丁寧に寄せ植えする参加者



2月8日 シニアカフェ開催 健康的に会話が弾むひととき

村ヘルスマイト(兼田矩美会長)の皆さんが貝野瀬と赤城原の老人会を訪ね、シニアカフェを開催しました。

歌に合わせて体を動かす脳トレなどをしながらお茶でひと息。笑顔で会話が弾んでいました。



笑顔で語り合うヘルスマイトと老人会の皆さん



第一保育園・第二保育園・子育保育園 園児たちは元気いっぱい楽しんでます

第一保育園で石井邦彦さん・萌さん夫妻(上内出)の指導による「粉から作るこんにやくづくり」が行われました。また、各保育園で節分の豆まきやお店屋さんごっこを開催。園児たちは元気いっぱい過ごしています。



こんにやくづくりを終えて(第一保育園)



お店屋さんごっこ(子育保育園)



節分の豆まき(第二保育園)